

内閣府特命担当大臣（科学技術政策）談話

昨日のノーベル生理学・医学賞に引き続き、ノーベル物理学賞を、東京大学の梶田隆章教授・宇宙線研究所所長がその優れた御業績により受賞されることとなり、心からの敬意と祝意を表します。

人類への貢献を称えるノーベル賞を日本の研究者が昨日に続き、しかも、物理学賞は、昨年に続いて、受賞されたことは、日本の研究水準の高さを世界に示す快挙といえ、この上ない喜びであるとともに大きな励みとなるものです。

これらの受賞が、科学技術に対する社会の期待や関心を一層高め、次代を担う若い世代に夢を与えるとともに、新たな課題に積極的に挑戦する契機となり、今後も世界トップレベルの研究成果が生み出されることを期待しています。

政府としても、次期科学技術基本計画の策定に向け、優れた人材育成の強化や学術研究・基礎研究の推進などに全力で取り組んでまいります。

梶田教授におかれては、これからも御自身の研究や後進の育成に取り組まれ、我が国及び世界の科学技術の発展に貢献されるようお願い申し上げます。

平成 27 年 10 月 6 日
内閣府特命担当大臣（科学技術政策）
山 口 俊 一